Cisco IP Phone 8800シリーズマルチプラットフォーム電話機のスクリーンセーバー設定の管理

目的

Cisco IP Phone 8800シリーズマルチプラットフォーム電話機は、IPネットワークを介して音声通信を提供する、フル機能のVoice-over-Internet Protocol(VoIP)電話機のセットで構成されます。この電話機は、コール転送、リダイヤル、スピードダイヤル、コール転送、会議コールなど、従来のビジネス電話のすべての機能を提供します。Cisco IP Phone 8800シリーズマルチプラットフォーム電話機は、サードパーティ製のSession Initiation Protocol(SIP)ベースのIP構内交換機(PBX)を中心としたソリューションを対象としています。

Cisco IP Phone 8800シリーズマルチプラットフォームフォンでは、電話機の名前、壁紙、ロゴ、スクリーンセーバー、輝度表示、バックライト設定などの設定をカスタマイズできます。Cisco IP Phoneのスクリーンセーバーまたはスクリーンセーバーは、必要に応じて設定できます。電話機が指定された時間アイドル状態になると、スクリーンセーバーモードになります。

この記事では、Webベースのユーティリティまたはシスco IP Phone 8800シリーズマルチプラットフォーム電話機のグラフィカルユーザインターフェイス(GUI)を使用してスクリーンセーバーの設定を管理する方法について説明します。

該当するデバイス

- 8800 シリーズ

[Software Version]

- 11.0.1

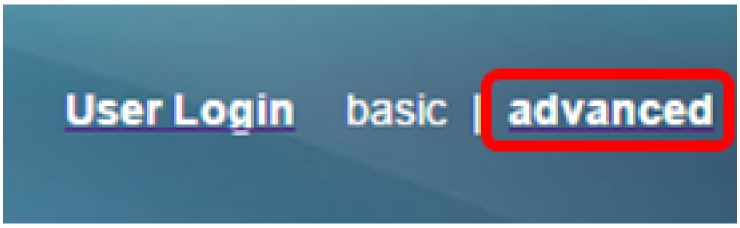
Cisco IP Phone 8800シリーズの壁紙の管理

Webベースのユーティリティによるスクリーンセーバーの設定

ステップ1:IP PhoneのWebベースユーティリティにアクセスし、Adminとしてログインします。

注：7800または8800シリーズマルチプラットフォーム電話機でパスワードを設定する方法については、ここをクリックしてください。

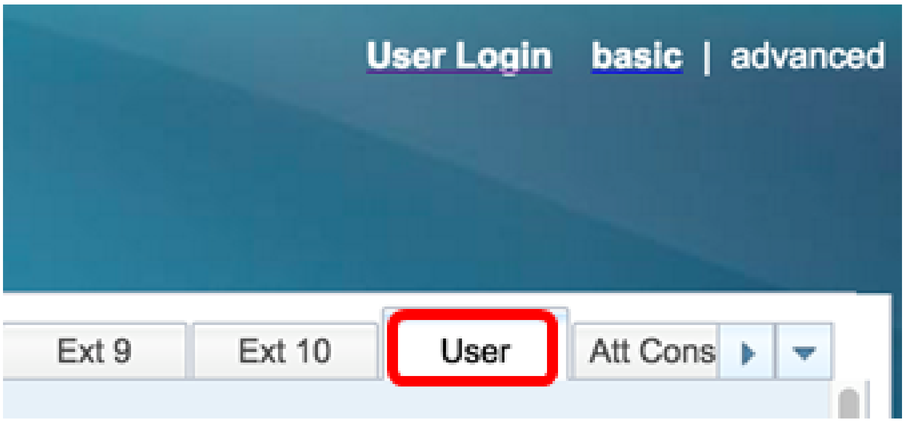
ステップ2:[Advanced]をクリックします。



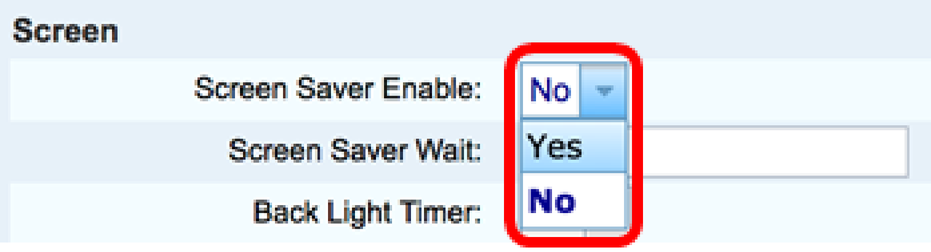
ステップ3:[Voice]をクリックします。

注：使用できるオプションは、デバイスの正確なモデルによって異なります。この例では、Cisco 8861 IP Phoneが使用されています。

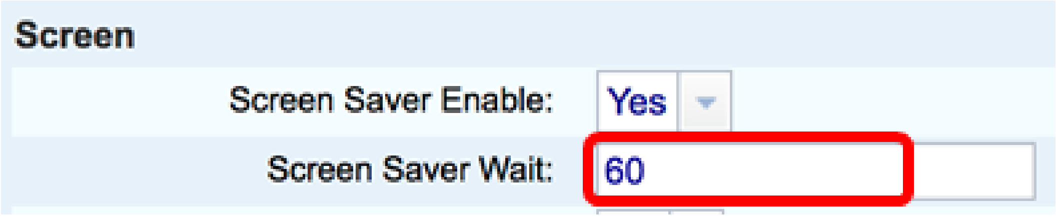
ステップ4:[User]をクリックします。



ステップ5:[Screen（画面）]領域で、[Screen Saver Enable(スクリーンセーバーの有効)]ドロップダウンリストから[Yes（はい）]を選択します。このオプションはデフォルトで無効になっています。



ステップ6:[スクリーンセーバー待ち]フィールドに、スクリーンセーバーが開始されるまでのアイドル時間を秒数で入力します。デフォルト値は 300 秒です。

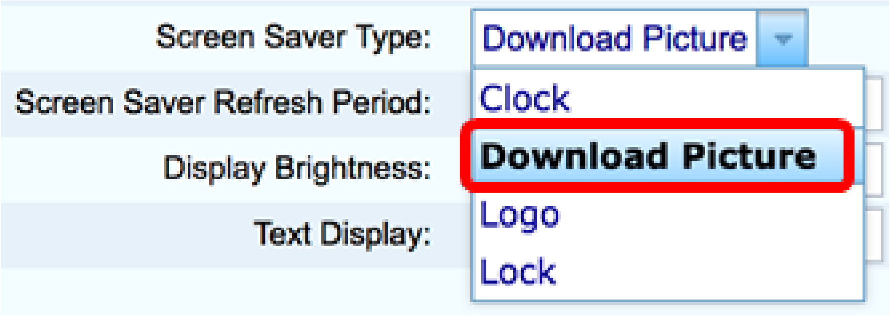


注：この例では、60秒が使用されます。

ステップ7:[Screen Saver Type]ドロップダウンリストから表示タイプを選択します。

次のオプションがあります。

- クロック：電話の画面に日付と時刻が表示されます。これがデフォルト設定です。
- [画像のダウンロード(Download Picture)]：電話機に背景画像が表示されます。
- ロゴ：電話機に設定された背景ロゴが表示されます。このオプションを選択した場合は、ステップ9に進みます。
- [ロック(Lock)]：電話機に移動する南京錠アイコンが表示されます。電話機がロックされると、ステータス行にスクロールメッセージが表示されます。任意のキーを押して、電話機のロックを解除します。



注：この例では、[Download Picture]が選択されています。

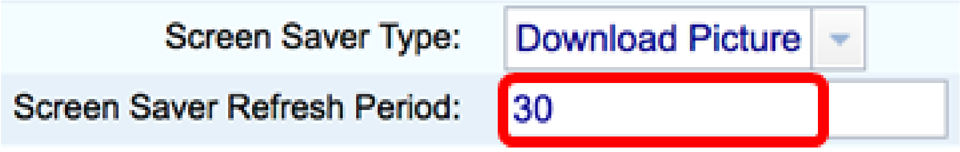
ステップ8:（オプション）[画像ダウンロードURL(Picture Download URL)]フィールドに背景画像のUniform Resource Locator(URL)アドレスを入力します。

注：この例では、tftp://192.168.100.114/TFTP/image/cisco-wallpaper-800x480.pngが使用されています。

ステップ9:（オプション）ロゴURLフィールドに背景画像のURLアドレスを入力します。

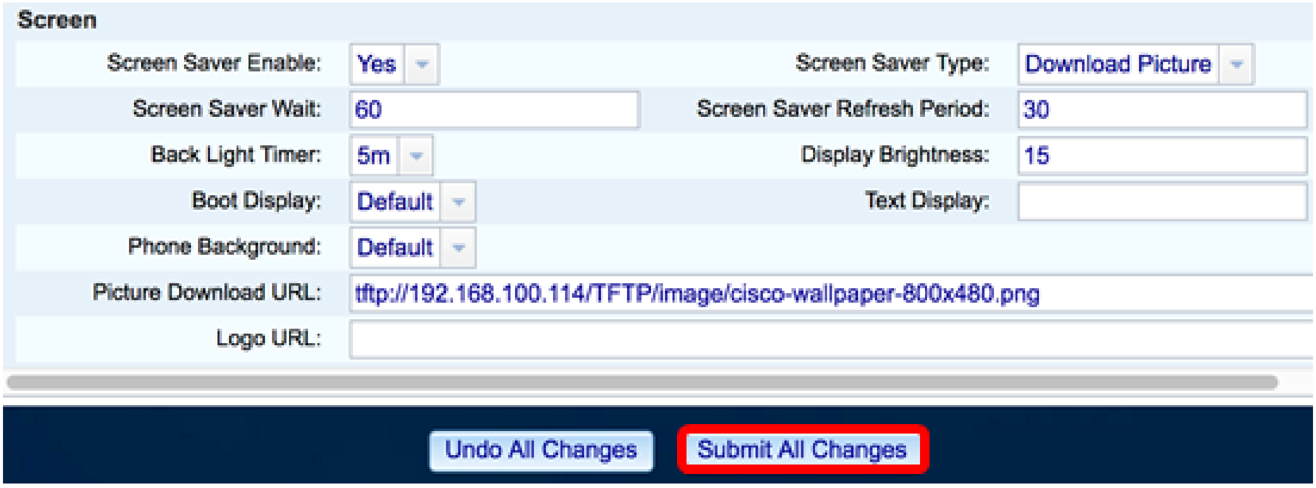
注：この例では、tftp://192.168.100.114/TFTP/image/cisco-logo-800x480.pngが使用されています。

ステップ10:（オプション）[スクリーンセーバーの更新間隔]フィールドに、スクリーンセーバーが更新されるまでの秒数を入力します。



注：この例では、30秒が使用されています。

ステップ11:[**Submit All Changes**]を**クリックします**。



これで、Webベースのユーティリティを使用して、Cisco IP Phone 8800シリーズマルチプ

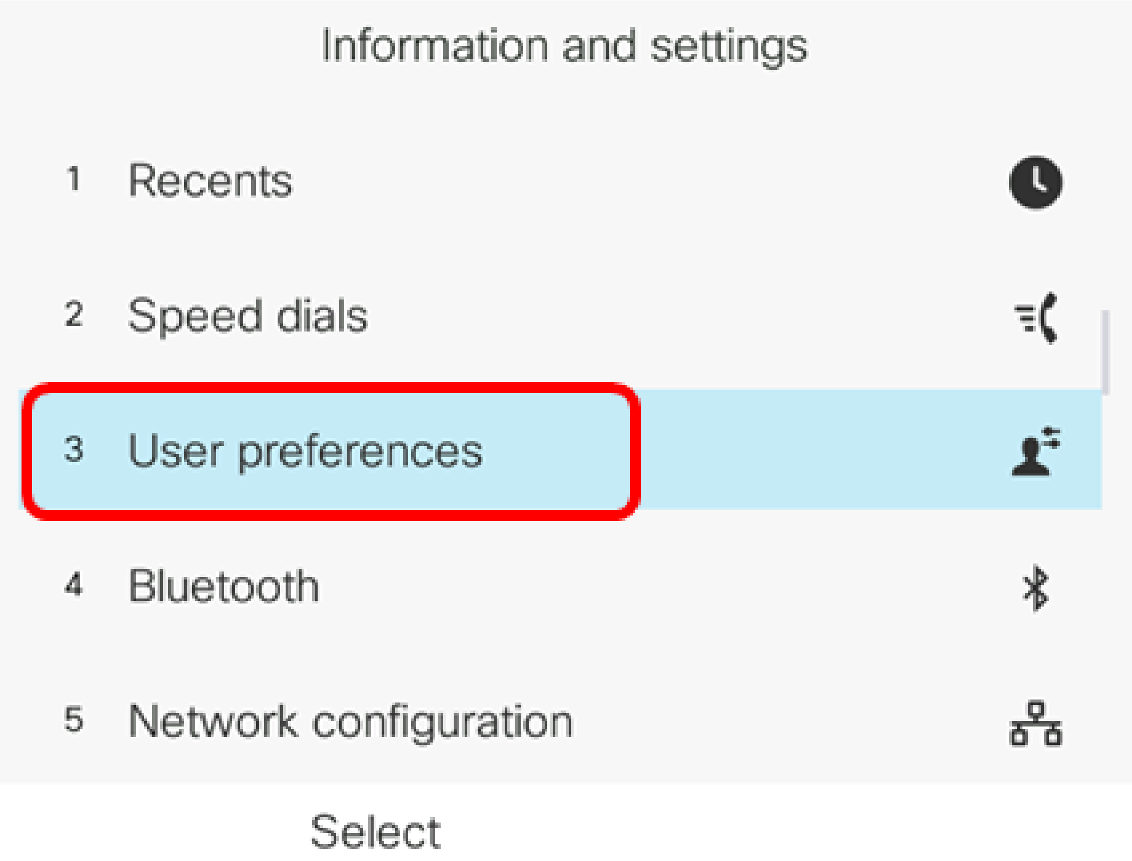
ラットフォームフォンのスクリーンセーバ設定を正しく設定できました。

60秒間非アクティブになると、次のスクリーンセーバーが表示されます。

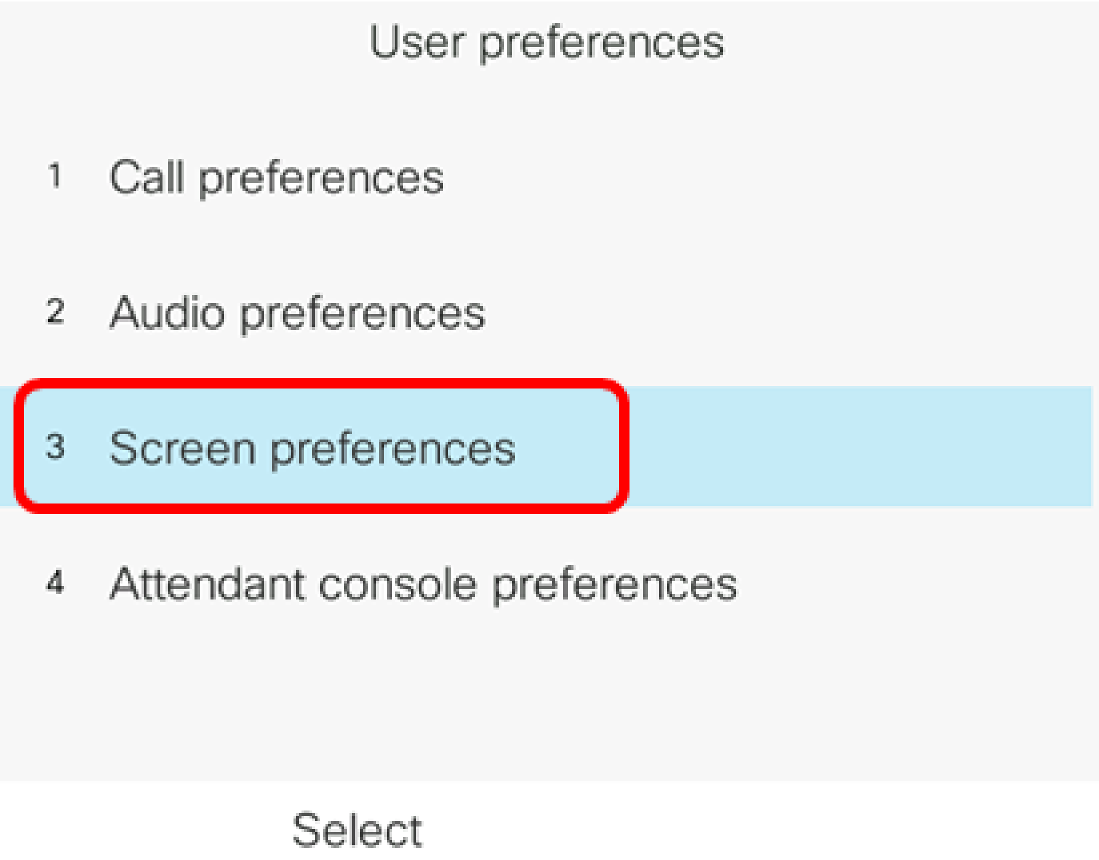
IP PhoneのGUIによるスクリーンセーバーの設定

ステップ1:IP Phoneのアプリケーションを押します。

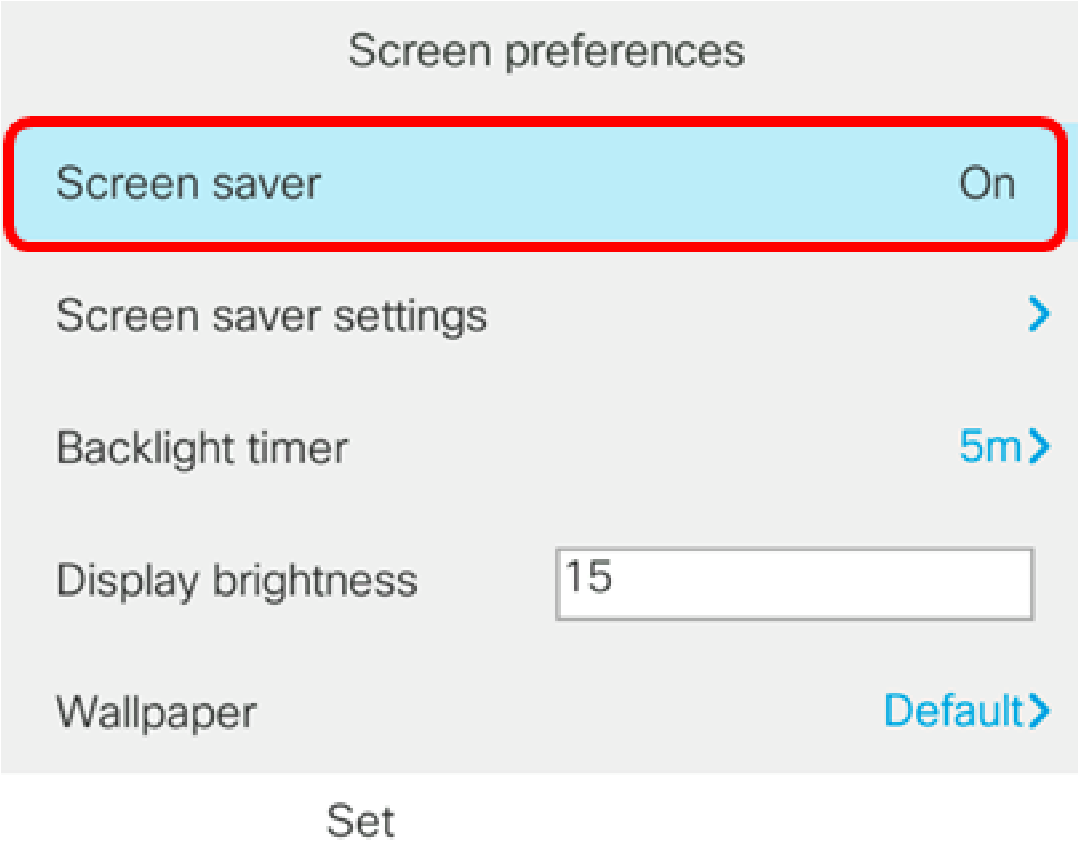
ステップ2：ナビゲーションクラスタボ**タンを使用し**て、[User preferences]を選択 します。



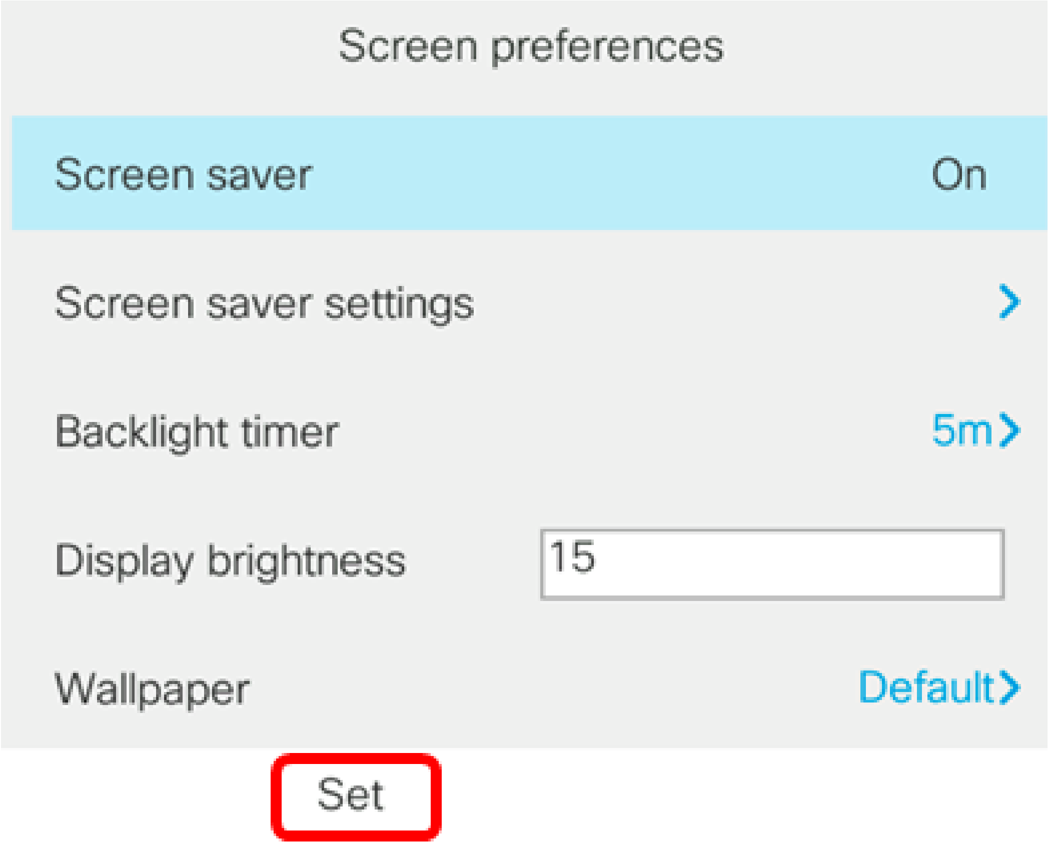
ステップ3:[Screen preferences]を選択します。



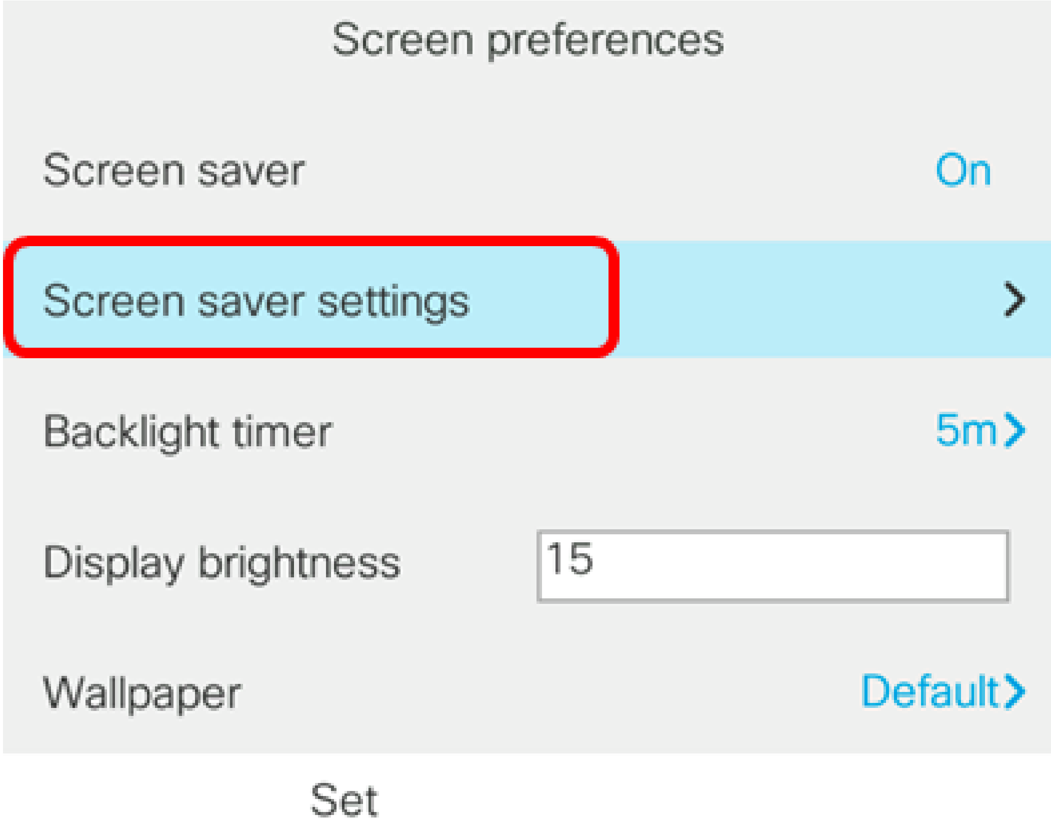
ステップ4：ナビゲーションクラスタナビゲーションボタンを押 して、スクリーンセーバーをオンに切り替えます。



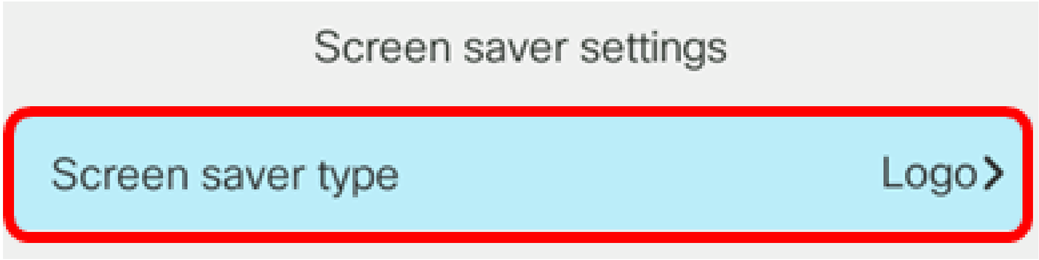
ステップ5:[設定]ソフトキーを押して、スクリーンセーバ設定を保存します。



ステップ6:[スクリーンセーバー設定]を選択します。



ステップ7：ナビゲーションクラスタの左または右ボタン を押して、スクリーンセーバーの種類を選択します。

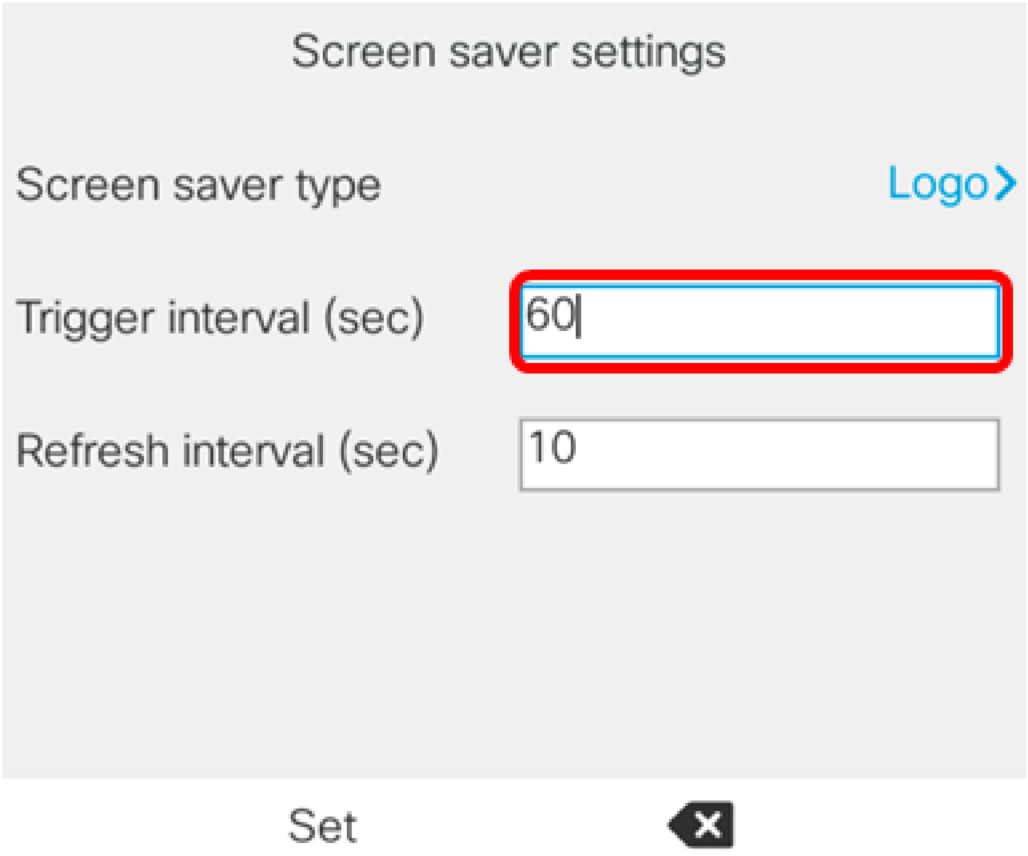


次のオプションがあります。

- クロック：電話の画面に日付と時刻が表示されます。これがデフォルト設定です。
- [画像のダウンロード(Download Picture)]：電話機に背景画像が表示されます。このオプションを選択した場合は、Webベースのユーティリティを使用して指示に従ってください。
- ロゴ：電話機に設定された背景ロゴが表示されます。このオプションを選択した場合は、Webベースのユーティリティを使用して指示に従ってください。
- [ロック(Lock)]：電話機に移動する南京錠アイコンが表示されます。電話機がロックされると、ステータス行にスクロールメッセージが表示されます。任意のキーを押して、電話機のロックを解除します。

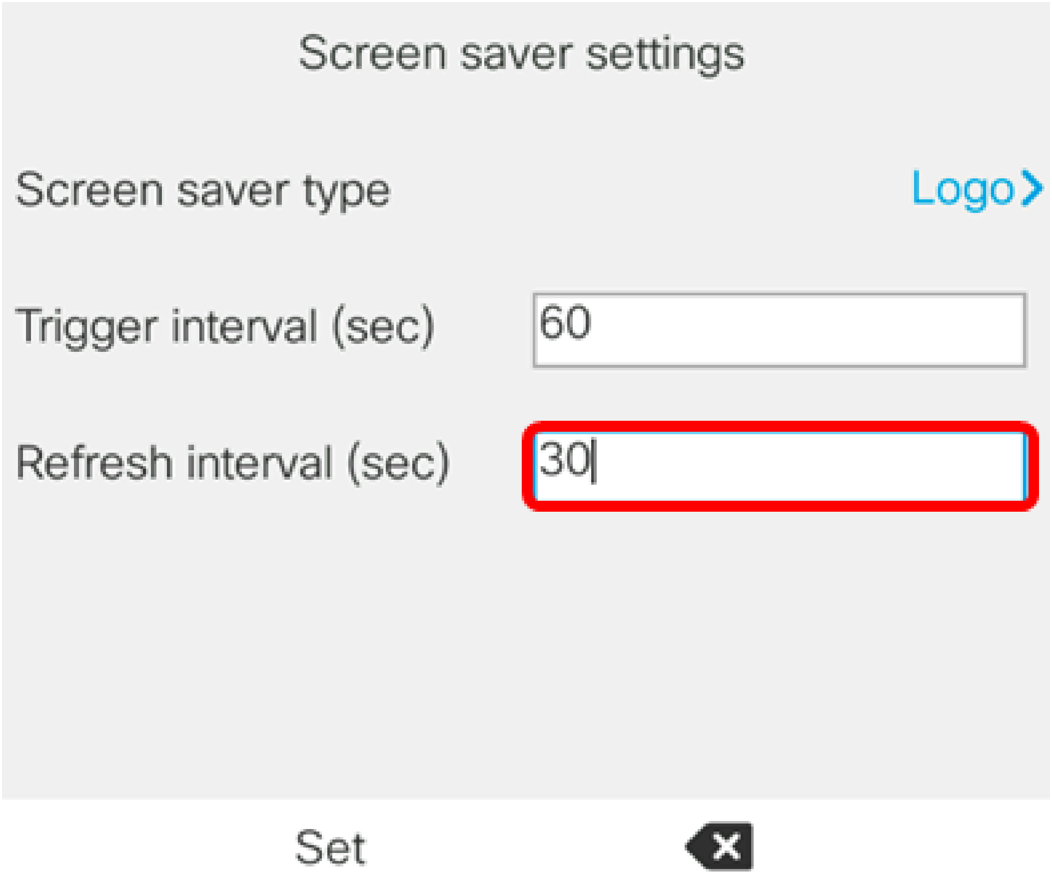
注：この例では、[Logo]が選択されています。

ステップ8:[*Trigger interval (sec)]フィールド*に、スクリーンセーバが起動するまでのアイドル時間を秒数で入力します。デフォルト値は 300 秒です。



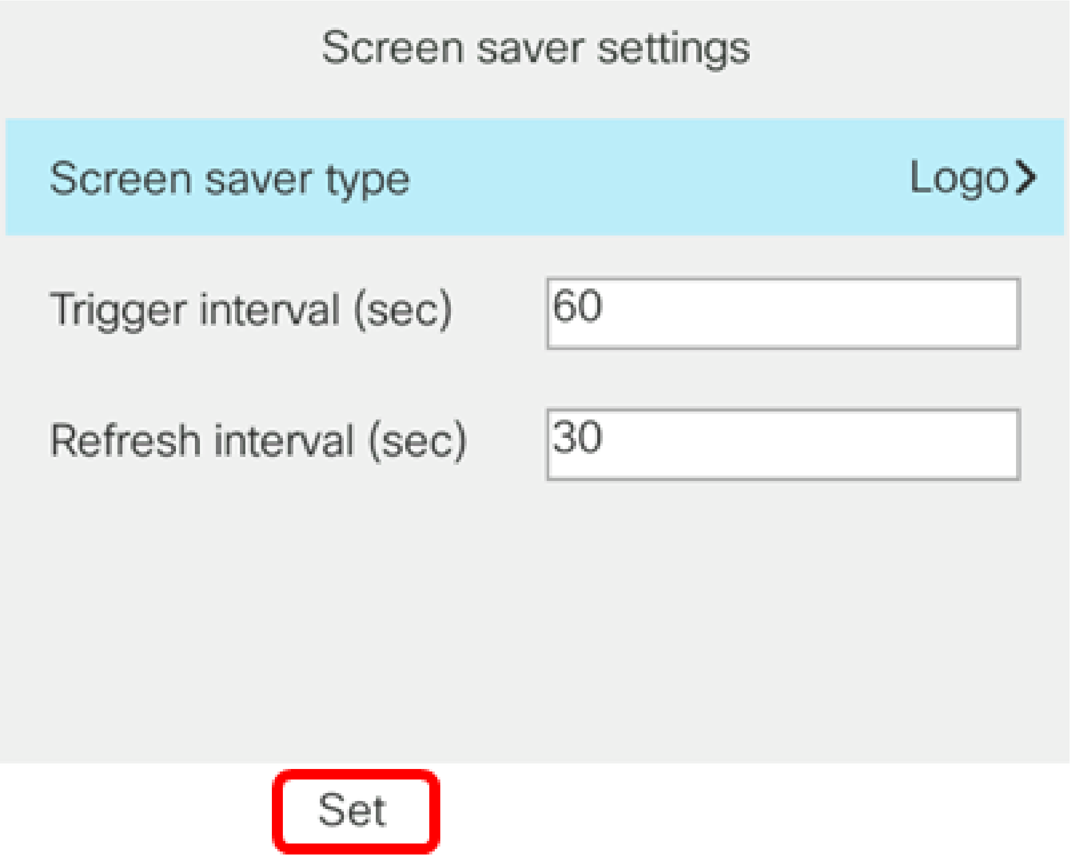
注：この例では、60秒が使用されます。

ステップ9:（オプション）[更新*間隔（秒）(Refresh interval* (sec))]フィールドに、スクリーンセーバが更新されるまでのアイドル時間の秒数を入力します。デフォルトは 10 秒です。



注：この例では、[Refresh interval]は30秒に設定されています。

ステップ10:[設定]ソフトキーを押して、スクリーンセーバの設定を保存します。



これで、Cisco IP Phone 8800シリーズマルチプラットフォームフォンのスクリーンセーバ設定をGUIで正常に管理できました。

60秒間非アクティブになると、次の壁紙が電話機のスクリーンセーバーとして表示されます。